

※本様式について、黄色のセルを記入してください。

記載例

(様式1-1)

令和6年度神奈川県商店街魅力アップ事業計画書(応募)

令和6年〇月〇日

神奈川県知事 殿

(応募者)

所在地 〒 231-8588

横浜市中区日本大通1

団体名 かながわ商店街

代表者 会長 神奈川 太郎

(職・氏名)

※様式の枠が狭い場合は、適宜広げて使用してください。

神奈川県商店街魅力アップ事業費補助金(応募)を提出するにあたって団体等の同意を得ているので、神奈川県商店街魅力アップ事業費補助金(応募)第1表「重点取組事業」は、「6 事業計画について」の内容から重点取組の事業であると具体的に分かる場合に限ります。

1 取組事業

下記のうち、該当する取組の「該当」欄に○を記載してください。

取組事業		該当
賑わい創出事業		
重点取組事業	①未病を改善する取組	
	②共生社会の実現に向けた取組	
	③買物弱者支援の取組	○
	④インバウンドへの取組	
	⑤脱炭素社会の実現に向けた取組	
	⑥小規模団体の取組	

2 確認事項及び誓約事項等

(1) 公益社団法人商連かながわへの推薦依頼の有無

商連かながわからの推薦を受ける場合はチェックし、(様式1-3)を

※推薦依頼をする場合は、□にチェックしてください。

公益社団法人商連かながわに「事業計画に係る推薦依頼書(様式1-3)」を提出します。

(2) 次の事項について同意します。

内容を確認し、必ず全ての項目に

※応募に当たり、次の事項に同意する必要があります。

- 団体名、所在地及び取組に関する事項を県ホームページ等で公表すること。
- 既定の経費割合を満たさない場合や関係規定の補助対象者の要件、補助条件等を満たさない場合、不採択となること。
- 構成員の過半数が県内中小企業者(県個人事業税又は法人県民税の対象となる事業者のうち中小企業支援法(昭和38年法律第147号)第2条第1項第1号から第4号に規定する者)であること。
- 応募事業の採択を受けた場合は、知事が定める期限までに「神奈川県商店街魅力アップ事業費補助金交付申請書(様式4-1)」に必要書類を添付して提出すること。

3 事業名及び事業実施地について

令和6年9月30日(月)です。

(1) 事業名(35文字程度で目的、内容がイメージできるような名称とすること。)

買い物バスの運行と〇〇イベントの実施

実施事業がイメージできるような名称を簡潔に(35文字以内を目安)で

(2) 事業実施地(〇〇商店街等。事業を実施するエリアを記載した地図を添付すること。)

かながわ商店街、〇地域の△から◇までのルート(買い物バスの運行)

4 補助事業応募者について(名簿、組織図を添付すること。)

事業所等所在地	かながわ商店街
会員数	60
電話番号	〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇
ファクシミリ番号	□□□ - □□□ - □□□□

担当者連絡先(事業実施の担当者に関する事項を記載すること。)

所 属	かながわ商店街
(フリガナ)	カナガワ ジロウ
氏 名	神奈川 次郎
連 絡 先	
電話番号	△△△ - △△△△ - △△△△
ファクシミリ番号	××× - ××× - ××××
メールアドレス	〇〇@〇〇.jp

5 商店街等の現在の状況（詳細に記入すること。）

立地	〇〇駅から徒歩〇分に位置する。商圏は広いが特に〇〇地区は坂が多く、バスの運行本数も少ないため、来街しづらい。					
客層	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども連れ等のファミリー層	<input type="checkbox"/> 会社員	<input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> その他 ( )	
業種構成(割合)	飲食店: 50%	物販店: 30%	サービス業: 10%	その他 10% ( 医療機関 )		
商店街の強み	配送を行っている商店が複数あり、大型車両と運転手を有する商店がある。商店街の活性化に向けたアイデアは各店持っており、イベントに対しても前向きである。					
地域住民のニーズ	〇〇地区は商店が少なく、交通の便も悪いため、買い物バスや配送等のニーズがある。また、朝市等が数年前まで近隣で行われ、イベントに対するニーズもある。					
商店街が抱える課題	各店での取組を協力して実施できておらず、効率化できていない。また、イベント等の周知の仕方バラバラで、効果的な周知ができていない。					

6 事業計画について

(1) 全体の目的、内容

① 目的（商店街の魅力高め、集客力の強化につながることを記入すること。）

高齢者が多く交通の利便性が低いという〇〇地域の課題を解決し、商店街の来街者数アップにつなげる。また、商店街の強みである大型車両や運転手を活かしつつ、課題である効率化と周知方法を確立する。

② 内容

買い物バスの運行と配送を実施する。また、商店街での買い物の楽しさを知ってもらうため、〇〇イベントを実施する。さらに、買い物弱者支援とイベントの実施をHP、SNSやチラシを活用し、〇〇地域を中心に広域に周知する。

(2) 事業周知に係る広報の内容（該当するものの□にチェック）

<input checked="" type="checkbox"/> チラシ	<input checked="" type="checkbox"/> ポスター	<input type="checkbox"/> 新聞折込	<input type="checkbox"/> 地域紙	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ( SNS )
---	--	-------------------------------	------------------------------	--	---

※ 重点取組事業「未病を改善する取組」、「共生社会の実現に向けた取組」、「買い物弱者支援の取組」、「インバウンドへの取組」又は「脱炭素社会の実現に向けた取組」のいずれかの場合、該当する重点取組事業であることが、チラシ、ポスター等の広報物に明確に記載されている必要があります。

(3) 各事業の詳細

事業①	巡回バスの運行		事業の実施を総会等で議決する際の議題名等、総会等の議事録（交付申請時に提出）から内容が分かる事業名にしてください。
事業区分	該当する事業区分の右欄に○を記載 (賑) (重) ○		
事業目的	坂道が多くバスの運行も少ない〇〇地域のアクセス環境の改善		
上記目的に沿った	a	利用者に対し、来街時に利用可能な車両と認知してもらうため、既存の車両に「商店街の買い物バス」と分かるラッピングを施したバスを運行する。	「7 経費の配分」の「(2) 支出の部」に記載する内容と関連するように、実施する事業内容ごとに欄を分けて記載してください。
	b	利用者が安全、快適にバスを利用できるよう、傷んだ内装の修復及び抗菌処理をする。	
	c	停留所に簡易的な時刻表やルートマップを設置する。 (ルートは△△～××とし、平日〇回、土日△回運行予定)	
	d		
実施スケジュール	買い物バスのラッピング案の決定：8月、発注先の決定・発注：9月、改修作業：10月、運行開始：11月 時刻表・ルートマップ案と設置場所の決定：8月、発注：9月、設置：10月		
事業②	〇〇イベント		補助対象経費に係る発注、契約、登録、又は申込等の契約行為の日付けが、必ず6月下旬（県の交付決定）以降になるようにしてください。
事業区分	該当する事業区分の右欄に○を記載 (賑) ○ (重)		
事業目的	買い物を楽しむことで、来街者に商店街の良さを知ってもらい、日常的な集客へつなげる。		
上記目的に沿った具体的な事業内容	a	〇年前まで開催されていた朝市を再開させる（平均〇店舗が出店し、隔週土曜日に実施予定）。販売以外にも地域団体等が発表をする場を提供する。	
	b	スタンプラリー等の催しも実施し、平日の来街者数増加にもつながるよう、商店街で使えるクーポン券等も配布する。	
	c		
	d		
実施スケジュール	企画案の策定：7月、出店業者、協力業者等の募集：8月中旬まで、運営委託及びアルバイト募集：8月下旬、朝市再開：9月から隔週土曜日、スタンプラリー等の実施：〇/〇～〇/〇		

事業③	広報媒体を活用した取組の周知			重点取組事業の一部に賑わい創出事業の内容が含まれる場合や、重点取組事業と賑わい創出事業の両方に関係する事業の場合は、「(重)」を選択してください。
事業区分	該当する事業区分の右欄に○を記載 (賑)		(重) ○	
事業目的	上記「事業①」、「事業②」の告知による認知度と来街者数の向上			
上記目的に沿った具体的な事業内容	a	買い物バスの運行開始や運行状況、○○イベントの開催についてのチラシやポスターを作成し、チラシの地域紙への折込や商店等での掲示により周知する。 (チラシ：○部作成、うち○部を地域紙に○回折込、ポスター：○部作成)		
	b	商店街のホームページやSNSを活用し、買い物バスや○○イベントの開催について周知する。(買い物バスの運行開始時、朝市の開催ごと、○○イベントの開催前・開催後に更新)		
	c			
	d			
実施スケジュール	広告・掲載内容の協議：7月、業者選定、 <u>契約：8月上旬</u> 、周知の開始：8月下旬～事業終了まで			

(4) 実施体制 ※事業によって実施体制が異なる場合は、事業ごとに記入すること。

事務局内で事業ごとの担当を割り振り、商店街会員の役割を定例会で決めて実施する。  
有識者や専門家等の外部人材の協力も仰ぐ。  
朝市は、近隣商店街団体にも声を掛け、商店街の名産品等を回替わりで出店できるように検討する。  
イベントの実施や広報媒体を活用した取組に当たっては、県のアドバイザー派遣を活用し、イベント運営や効果的な広報についてアドバイスを受ける。

(5) その他特記事項（地域内の他団体等との連携など、特筆すべき事項があれば記入すること。）

広報活動に関しては、地元の町内会とも連携して実施する。  
また、地元の小中学校にも声を掛け、イベントへの参加を呼び掛けると共に、発表の場への出し物の協力依頼をする。

7 経費の配分

(1) 収入の部

(単位：円)

青色セルは自動計算されます。

種類	内容	金額	備考
補助金	県商店街魅力アップ事業費補助金	1,205,000	
自己負担		1,426,550	
合計		2,631,550	

「細目」、「事業番号」、「事業内容番号」及び「事業区分」は、プルダウンメニューから選択してください。

重点取組事業と賑わい創出事業の両方に係る支出の場合は、「(販・重)」を選択してください。

(2) 支出の部

(単位：円)

費目 ※1	細目 ※2	内容	金額 (税抜)	消費税	合計 (税込)	事業 番号	事業 内容 番号	事業 区分	備考
H	工事関係費	買い物バス車両へのラッピング	500,000	50,000	550,000	①	a	(重)	
H	工事関係費	買い物バス内装修復 (抗菌処理)	500,000	50,000	550,000	①	b	(重)	
S	消耗品費	買い物バスの設置物作成	100,000	10,000	110,000	①	c	(重)	
S	出演料	イベント司会者への出演料	100,000	10,000	110,000	②	a	(販)	1名×○○円× ○○回
S	賃金	イベント運営スタッフ アルバイト	200,000	0	200,000	②	a	(販)	○名×○○円× ○○日
S	消耗品費	イベント実施に必要な事務 用品など	10,500	1,050	11,550	②	b	(販)	スタンプカード、POP用の紙
S	広告宣伝費	チラシ作成費 (○部)	400,000	40,000	440,000	③	a	(販・重)	事業①、②の 内容を周知
S	広告宣伝費	地域紙へのチラシ折込 (○○地域×○回)	200,000	20,000	220,000	③	a	(販・重)	事業①、②の 内容を周知
S	広告宣伝費	ポスター作成費 (○部)	100,000	10,000	110,000	③	a	(販・重)	事業①、②の 内容を周知
S	委託費	イベント等周知のHP・SNS 作成・更新委託	300,000	30,000	330,000	③	b	(販・重)	事業①、②の 内容を周知
合計			2,410,500	221,050	2,631,550				

「6 事業計画について」の「(3) 各事業の詳細」の該当する事業の番号を選択してください。  
例：「事業①」（巡回バスの運行）に係る支出の場合は「①」を選択

補助対象外の経費は記載しないでください。  
(補助対象とならない経費は、募集要項を確認してください。)

「6 事業計画について」の「(3) 各事業の詳細」の該当する事業の事業内容のアルファベットを選択してください。  
例：「事業①」（巡回バスの運行）の「c」（停留所に簡易的な時刻表やルートマップを設置する。）に係る支出の場合は「c」を選択

※1 「費目」は、「細目」の選択後、「企画運営費（ソフト）」はS、「施設整備関係費（ハード）」はHが自動で入力されます。  
※2 「細目」は、支出の性質に対応した「専門家経費」から「什器備品費」までのいずれかを選択してください。

(3) 補助額等

取組事業	(補助上限額)	補助率
重点	(3,000,000)	1/2

		補助対象経費	補助率	補助率を 乗じた額	(費目上限額)	補助率を乗じた 額と費目上限額 と比較し低い額	(補助上限額)
		a	b	c(=a*b)	d	e(=min(c,d))	f
費用ごと	S	1,410,500	1/2	705,250	(なし)	705,250	-
小計	H	1,000,000		500,000	(1,500,000)	500,000	-
合計		2,410,500		-		1,205,250	(3,000,000)

施設整備関係費（ハード）合計が全体に占める割合※3

41.5% 70%を超えると不採択となります。

※3 70%を上回る場合は不採択となります。

交付申請額 1,205,000

※上記(e)合計と補助上限額(f)のうち、いずれか低い額（千円未満切捨て）

【重点取組事業を応募する場合】

重点取組事業の事業区分の補助対象経費合計※4	1,600,000	全体に占める割合※5	66.4%
------------------------	-----------	------------	-------

60%を下回ると不採択となります。

※4 算出方法  
支出の部「事業区分」欄で、「(重)」を選択した経費の合計額と「(販・重)」を選択した経費の合計額の1/2の額を合算  
【計算式】 「重点取組事業の事業区分の補助対象経費合計」= 「(重)の合計」+ 「(販・重)の合計÷2」  
(注) 「6 (3) 各事業の詳細」や、見積書、請求書等の記載から「賑わい創出事業」と「重点取組事業」を明確に分けることができる場合は、「(2) 支出の部」の「備考」欄にその比率を記載し、「重点取組事業の事業区分の補助対象経費合計」欄に手動で加算してください。

※5 「重点取組事業の事業区分の補助対象経費合計」が「全体に占める割合」の60%を下回る場合は不採択となります。

8 物件（賃借物件）について

※ 補助対象の事業に使用し、家賃等の対象経費とする物件がある場合に記入すること。

(1) 物件（施設）の状況

項目	内容
施設の種類	
内容	
数量	
単価（円）	
価格（円）	
性能又は寸度	該当がない場合は、空欄のまま提出してください。
購入先	
設置場所	
面積（㎡）	
建築・製造業者	

(2) 物件（賃借物件）の状況

項目	内容
所在地及び面積	〇〇市〇〇町1-1 〇〇㎡
賃貸人の住所及び氏名	〇〇市〇〇町1-2 神奈川 花子
月額賃借料	〇〇〇〇円
店舗面積	〇〇㎡
賃貸借開始年月日	令和〇年〇月〇日
賃貸借満了年月日	令和〇年〇月〇日
事業実施図（位置図、設計図）	別紙参照
賃借物件の状況がわかる写真	※別途添付ください。

※転借物件の場合は下記についても記載のこと。

項目	内容
転貸人の住所及び氏名	
月額転借料	該当がない場合は、空欄のまま提出してください。
転貸借開始年月日	
転貸借満了年月日	

9 目標数値（事業実施前と比較できるように記入すること。）

(1) 歩行者通行量

事業実施前	測定日時	令和6年2月25日	(日)	9	時	～	18	時
	通行量 a	10,000	人					
目標	通行量 b	10,500	人	事業実施前対比 (b-a)/a	+5.0	%		

※ 事業実施前の値の  
 事業の実施後に目標を設定してください。  
 応募前に実施した歩行者通行量調査の日時と通行量を記載してください。  
 (事業の実施後に、同じ測定をしていただきます。)

(2) 年間売上高

事業実施前	全会員数	60	名	割合	83.3%	
	うち、測定店舗数	50	名			
	年間売上高 a	60,000	万円	測定店舗数が全会員数の半数未満		
目標	年間売上高 b	64,000	万円	事業実施前対比 (b-a)/a	+6.7	%

(3) 会員や地域住民の満足度等

① 事業実施による会員や地域住民の満足度

目標	会員	80	%	地域住民	80	%
測定方法	<input checked="" type="checkbox"/> アンケート	<input type="checkbox"/> 聞き取り	<input type="checkbox"/> その他 ( )			

② 商店街全体に対する想定効果（認知度の向上、会

買い物バスの運行や朝市の再開等により、買い物弱者に対する支援だけでなく集客力増加につながる。またホームページやSNS等を活用して商店街全体の取組を効果的に広報することで、当商店街の認知度の向上、新規の来街者の開拓にもつながる。

10 過年度事業の評価について

(1) 過年度事業の概要（実施した内容を簡潔に記入すること。）

【前年度の事業】  
 ① イベント時の買い物バスを試行運行した（車両はレンタル）。  
 ② 8月、商店街広場にて、〇〇〇〇といったイベントを実施した。  
 【実施結果】  
 ① 1日当たり〇人が利用。停留所付近と商店街だけで周知したため、利用者が想定を下回った。  
 ② 約〇人がイベント参加。会員のみで事務局を発足したため、人員や運営ノウハウが不足していた。  
 【今年度実施する改善点】  
 ① 有識者を交えて効果的な周知方法を検討し、HPやSNS、折込チラシなどを活用して広報する。  
 ② 昨年のアンケートを参考に、より満足度の高いプログラムを構成し、専門家を交え、企画立案や運用体制の構築することで集客力の強化を図る。

(2) 過年度事業実施の効果（前年度の目標達成状況等について記入すること。）

【前年度事業 歩行者通行量】									
前年度事業 実施前	測定日時	令和4年8月28日	(日)	9	時	～	18	時	
	通行量 a	9,500	人						
	目標 b	10,000	人	実施前対比 (b-a)/a	+5.3	%	+500	人	
前年度事業 実施後	測定日時	令和5年8月27日	(日)	9	時	～	18	時	
	通行量 c	9,800	人						
				実施前対比 (c-a)/a	+3.2	%	+300	人	
			目標対比 (c-b)/b	-2.0	%	-200	人		

【前年度事業 年間売上高】									
前年度事業 実施前	年間売上高 a	78,000	万円						
	目標売上高 b	83,000	万円	実施前対比 (b-a)/a	+6.4	%	+5,000	万円	
前年度事業 実施後	全会員数	150	名						
	うち、測定店舗数	100	名						
	年間売上高 c	80,000	万円	実施前対比 (c-a)/a	+2.6	%	+2,000	万円	
			目標対比 (c-b)/b	-3.6	%	-3,000	万円		

【前年度事業 商店街全体に対する効果や会員や地域住民の満足度等】  
 会員に実施した満足度調査では、個店ではなく商店街全体への効果についてヒアリングし、満足度が70%だった。  
 また事業実施中に行ったアンケートでは、事業に対する地域住民の満足度は65%だった。

(3) 実施した結果を踏まえた課題認識

当初のスケジュール想定が甘く、発注や告知が遅れた結果、イベントの実施が延期となった。本年度は、事業工程を明確にした上で精度の高い計画を立て、各担当で逐次共有し円滑な事業運営を行う。またイベント実施について「知らなかった」とのアンケート回答も多かったため、HPやSNSなど、幅広い広報媒体を活用する。



- 11 3年後に実現する目標や活性化に至るプロセスを定める計画書  
 ※ 前年度以前に採択されたことがある団体は、初年度に提出した内容を記入すること。

- (1) 商店街等の目指す姿、3年後に実現する目標  
 ※ 事業実施前と比較できるように記入すること。

【商店街等の目指す姿】

当商店街は、アクセスの不便さや商店街の効果的な周知ができていないといった課題を抱えており、また以前行っていた朝市を復活してほしいとの地域住民からの声もある。これらの課題を解決するとともに、商店街の集客力の強化を図るため、地域住民の声を踏まえたイベントを定期的実施することで、会員店舗の増加や地域住民の満足度が高い商店街を目指す。

【3年後の歩行者通行量】(数値目標)

事業実施前	通行量	10,000人		
3年後目標	通行量	11,000人	事業実施前対比	+10.0%

3年後にの目標を設定してください。

※ 事業実施以後、改めて曜日や時間帯を合わせて数値の測定をする必要があります。

【3年後の売上高(年間)】(数値目標)

事業実施前	年間売上高	60,000万円		
3年後目標	年間売上高	70,000万円	事業実施前対比	+16.7%

- (2) 今後3年間で実施する主な事業

※ (1)で掲げた目標を実現できるような事業計画と実施スケジュールを記入すること。

↓今回、該当する年目に「○」を選択

1年目	計画	①夏季イベント時の買い物バスの試行運行(車両レンタル) ②商店街会場にて、○○○○イベントを実施
	スケジュール	①8月～2月 ②8月27日
2年目	○ 計画	①時刻表・ルートマップの設置、買い物バスの運行開始 ②専門家を交えた企画立案を行い、○○○○イベントの実施 ③委託を活用したHP・SNS、チラシ・ポスターによる周知
	スケジュール	①車両改修は10月、11月から運行開始 ②11月～2月 ③順次開始
3年目	計画	①買い物バスの増便 ②巡回販売の実施 ③○○○○イベントの拡大実施 ④SNSを活用した商店街の各店舗による情報発信
	スケジュール	①8月から増便運行開始 ②2月から開始 ③8月から順次開始 ④8月から開始予定

- (3) 事業の評価・検証

※次の各項目について、3年後に実現する数値目標をどのように測定し、評価・検証していくか記入すること。

【歩行者通行量】

- ① 測定方法

定点観測

- ② 評価・検証方法

商店街のメイン通りに観測地点を設置し、事業実施前後に、同じ時間帯で測定をする。

【年間売上高】

- ① 測定方法

ヒアリング

- ② 評価・検証方法

会員店舗へ事務局が聞き取り調査を実施し、金額を算出する。実施日については、事業の効果を測定するため、事業実施後1か月を目安に行う。

【会員や地域住民の満足度】

- ① 測定方法

アンケート

- ② 評価・検証方法

会員や来街者に対して、アンケートを実施。実施した事業及び商店街全体に対する満足度をそれぞれ測定する。